

## 地域 01 : 地域医療・地域保健の考え方

日時 : 4月11日(金) 5時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

このユニットのオリエンテーションを行うので、遅れずに受講すること。  
地域医療・地域保健のあり方を理解する。

1. 地域医療, 地域包括ケアの考え方を説明できる。
2. ヘルスプロモーションの考え方を説明できる。
3. 地域における保健・医療・福祉・介護・教育の連携について説明できる。
4. 地域における専門職種間連携の必要性について説明できる。
5. 今後の地域医療の在り方について説明できる。

キーワード :

地域医療 (コミュニティヘルス), ヘルスプロモーション, 健康づくり, 支援的環境, 行動変容, 地域包括ケア(システム), 地域医療ビジョン, 介護保険制度, 介護予防, 専門職連携, 保健所, 市町村保健センター, 地域包括支援センター, 社会福祉協議会, 自立支援, 生活支援, 教育委員会, 在宅医療,

教科書 :

- ◆ 地域医療学入門 2019年8月9日発行 診断と治療社 第1章②p8-15④p26-27(15分)

準備 :

教科書の該当部分を読んでから参加する。(30分)

## 地域 02 : わが国の健康課題と地域医療の現状

日時 : 5月8日(木) 6時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

地域医療の現状と課題を理解する。

1. 我が国の保健医療上の問題点について説明できる。
2. 医療法に基づく地域医療体制(地域・救急・災害医療)の整備について説明できる。
3. 地域の医療資源の現状と課題について説明できる。
4. 医師の偏在の現状について説明できる。
5. へき地及び離島における地域医療の現状と課題について説明できる。

キーワード :

少子高齢化, 生活習慣病, 医療崩壊, 医療計画, 基準病床数, 地域医療支援病院, 医療法, 地域保健法, 救急医療, 災害医療, へき地医療, 離島医療, 地区診断, 病診連携, 病病連携, 地域連携クリティカルパス, 医師法, 健康増進法

教科書 :

- ◆ 地域医療学入門 2019年8月9日発行 診断と治療社 第1章①p2-7、③p16-25⑤p28-33(15分)

準備 :

教科書の該当部分を読んでから参加する。(15分)

## 地域 03 : プライマリケアにおける生物・心理・社会モデルの活用

日時 : 5月27日(火) 2時限

担当者 : 高橋 慶(医療生協さいたま川口診療所)

内容 :

目の前の患者を「ヒト」として捉え生物医学的側面だけに対応することの弊害を知り、心理的側面や社会的側面を含む「感情をもちながら社会の中で生きている人」として患者をみることの重要性を学ぶ。その実践においては生物、心理、社会の各要素に分けるのではなく、それぞれが相互に影響しあい不可

分なものとなって問題が発生しているという認識を持ち、どこに介入することが効果的かを考える手段として生物・心理・社会モデルの活用を学ぶ。

1. 生物医学モデルだけの対応の弊害について説明できる
2. 生物心理社会モデルについて概説できる
3. Narrative を聴取するための問いかけができる
4. 生物心理社会モデルの実践のポイントを説明できる

**キーワード：**

生物医学モデル、生物・心理・社会モデル、Narrative、全体論、還元論

**準備：**

生物心理社会モデルを理解するための以下の架空のシナリオにおいて、(1)と(2)の2点を考えてから授業に臨むとより学びが深まると思われます。 <シナリオ> インフルエンザの流行期に学生であるあなたが高熱を出し、患者として医療機関を受診しました。3日後には学校の試験が控えており「インフルエンザだったらどうしよう」と不安になっていました。診察で医師に「インフルエンザかもね。検査しますか？陽性だったら試験受けられなくなるけど」と言われました。(1)記載のどの部分が生物的側面、心理的側面、社会的側面か (2)それらがどのように影響しあっているか (3)あなたなら検査を受けますか？受ける理由あるいは受けない理由を(2)をふまえて患者として医師に説明してください

## 地域 04：地域医療におけるプライマリケアの実践

日時：5月27日(火) 3時限

担当者：高橋 慶(医療生協さいたま川口診療所)

**内容：**

行き過ぎた還元論による臓器別の専門医療が人間的ケアを壊滅させたという反省のもと、新たな専門分野として全体論をその価値観に持つ家庭医療が誕生した、という経緯を学ぶ。一方で、還元論も全体論もともに臨床実践では有用で欠かせない価値観であり、特に臓器別の専門医になるにあたって、還元論に傾斜し過ぎずに全体論的な視点も兼ね備えることが良い医療を提供するための必須条件であることを学ぶ。

1. 還元論と全体論について概説できる。
2. 還元論の功罪について説明できる。
3. 全体論に基づく家庭医療のありかたについて概説できる。
4. プライマリケアについて自分の言葉で説明できる。

**キーワード：**

プライマリケア、臓器別専門医、家庭医療、還元論、全体論

**教科書：**

◆ 地域医療学入門 2019年8月9日発行 診断と治療社

**準備：**

「プライマリケアとは〇〇である」と自分の言葉で表現できることを授業の目標としています。還元論と全体論という価値観レベルの議論を扱った資料が少ないためこの授業でとりあえることとしましたが、プライマリケアの定義を価値観レベルではなく行動レベルで示している組織は多くあります。これらをWebなどで事前に調べておくと学びが深まると思われます。

## 地域 05：多疾患併存へのアプローチ

日時：6月6日(金) 4時限

担当者：高橋 慶(医療生協さいたま川口診療所)

**内容：**

高齢化に伴い、一つの臓器にとどまらず複数の疾患を抱える多疾患併存と呼ばれる状態にある人が増加している。多疾患併存の概念とそれによって発生するリスクを学び、その対応についての理論と実践方法を学ぶ。

1. 多疾患併存の概念を説明できる
2. 多疾患併存によって発生するリスクを列挙できる
3. 多疾患併存によって発生するリスクへの対応についての理論と実践方法を概説できる

**キーワード：**

多疾患併存、併存症、ポリファーマシー、ポリドクター、バランスモデル、四則演算モデル

**準備：**

高血圧で内科に、膝が痛くて整形外科に、不眠で心療内科に通院している、というような複数の疾患を抱える人を想像し、どのような問題が起こりうるのかを考えてから授業に臨むと学びが深まると思われます。

**地域 06：慢性疾患のケアと予防医療の実践方法**

日時：6月6日（金） 5時限

担当者：高橋 慶(医療生協さいたま川口診療所)

**内容：**

将来の急性疾患を回避する方法としての、慢性疾患のケアと予防医療の実践を学ぶ。慢性疾患への具体的なアプローチとして慢性疾患ケアモデルの実践を学ぶ。予防医療については個人へのヘルスプロモーションとして健康診断や予防接種だけでなくライフコースアプローチを、地域へのヘルスプロモーションとして健康の社会的決定要因とソーシャルキャピタルの概念を学ぶ。

1. 慢性疾患ケアモデルについて概説できる
2. 上流要因について説明できる
3. ライフコースアプローチについて概説できる
4. 健康の社会的決定要因について概説できる
5. ソーシャルキャピタルについて概説できる

**キーワード：**

上流要因、慢性疾患ケアモデル、ライフコースアプローチ、健康の社会的決定要因、ソーシャルキャピタル、社会的処方

**教科書：**

- ◆ 講義配布資料

**参考書：**

- ◆ 国民衛生の動向

**準備：**

授業では、心筋梗塞になった人について、その原因を考えてもらい、さらにその原因の原因を考えてもらい、さらにまたその原因を考えてもらい…、というワークを行います。途中までは原因を生物医学的な要因（例えば糖尿病）に求めることができますが、さらにその原因を考えると、生物医学的な説明だけでは不十分になってきます。「糖尿病になったのは甘いものをたくさん食べたから」という説明のさらに原因（なぜ甘い食べ物をたくさん食べることになったのか？）を考え、さらにその原因を考えてみる…、ということを事前に行っておくと授業の理解が深まると思われます。

**地域 07：地域包括ケアからケアする社会へ**

日時：6月18日（水） 2時限

担当者：中野 智紀(東埼玉総合病院)

**内容：**

幸手モデルを通して住民主体の地域包括ケアシステムの概念を理解する。

1. 住民主体地域包括ケアシステムの概要を説明できる。
2. 在宅医療拠点事業の概要を説明できる。
3. 暮らしの保健室の目的と活動、成果を説明できる。
4. 地域づくりにおける医師の役割を説明できる。
5. 地域連携において役立つ能力について説明できる。

**キーワード：**

地域包括ケアシステム，地区診断，ソーシャルワーク，在宅医療介護連携拠点，幸手モデル，ケアする社会

**準備：**

「北葛北部医師会在宅医療連携拠点菜のはな」について以下の URL から確認し、活動の一端を知ってから参加する。

<https://satte-med.com/reports/category/nanohana/> (20 分)

**地域 08：地域医療ネットワークシステム**

日時：6月18日（水） 3時限

担当者：中野 智紀(東埼玉総合病院)

**内容：**

地域医療連携を目的としたネットワークシステムの意義について理解する。

1. 医療連携の課題について説明できる。
2. 医療連携のためのネットワークシステムの仕組みについて説明できる。
3. 保健医療情報を共有するときに配慮すべきことを列挙できる。
4. 地域におけるネットワークシステムの意義を説明できる。

**キーワード：**

とねっと，埼玉利根保健医療圏，在宅医療連携拠点事業，患者情報共有

**準備：**

とねっとに関して HP を確認してこること。 <http://saitama.jinai.jp/tonet/> (15 分)

**地域 09：ライフサイクルと家庭医療**

日時：6月19日（木） 3時限

担当者：市川 聡子(医学教育センター)

**内容：**

1. 幼少期から高齢者まで、人生の各段階に応じた健康問題/予防医療について説明できる。
2. さまざまな年代の女性の健康問題について説明できる。

**キーワード：**

**ユニット：**

家庭医、ライフサイクル、ライフコース、ライフステージ、家族志向のケア、ヘルスマンテナンス、継続的なケア、BPS モデル、Women's Health

**予習：**

キーワードについて、文献、Web 等を用いて調べておくこと (15 分)

**復習：**

学習内容について、2～3 行くらいでまとめておく。(15 分)

## 地域 10 : 連携を基盤とした在宅医療 1

日時 : 6月26日(木) 1時限

担当者 : 中井 秀一(医学教育センター)

内容 :

地域における多職種連携を重視した在宅医療について学習する

1. 在宅医療の概念と必要とされる理由を説明できる。
2. 病院医療と地域診療所の役割の違いを説明できる。
3. 介護保険について説明できる。
4. 多職種の役割について説明できる。
5. 在宅で必要となる医療の要点を説明できる。

キーワード :

在宅医療、病診連携、診診連携、IPW、とげとげの図、訪問診療、訪問看護、介護保険、在宅療養支援診療所、地域調剤薬局、在宅支援病棟、プライマリケアの ACCCA、多疾患併存、リハビリテーション、胃瘻、CV 管理、BPS モデル、家族志向生アプローチ、ポリファーマシー、患者中心の医療、施設の訪問診療

教科書 :

- ◆ 地域医療学入門、診断と治療社 2019年8月9日発行 第2章 P42-44

参考書 :

- ◆ 中根晴幸著 次代を担う医療者のための地域医療実践読本 幻冬舎 2017

準備 :

キーワードについて教科書、文献、Web 等を用いて調べておくこと。(15分)

## 地域 11 : 連携を基盤とした在宅医療 2

日時 : 6月26日(木) 2時限

担当者 : 中井 秀一(医学教育センター)

内容 :

地域における多職種連携を重視した在宅医療について学習する

1. 地域医療連携、多職種連携について説明できる。
2. 在宅緩和医療、在宅小児医療について理解する。
3. 在宅多職種連携で必要とされるリーダーシップ、マネジメントを理解する。

キーワード :

緩和ケア、小児診療、トラジション、ACP、COPC サイクル、CBPR、地域包括ケアシステム、リーダーシップ、プロジェクトマネジメント、オンライン診療

教科書 :

- ◆ 地域医療学入門 2019年 診断と治療社 第5章 p164-166

参考書 :

- ◆ 中根晴幸著 次代を担う医療者のための地域医療実践読本 幻冬舎 2017

準備 :

キーワードについて教科書、文献、Web 等を用いて調べておくこと。(15分)

## 地域 12 : 地域住民の健康とかかりつけ医の役割

日時 : 6月30日(月) 4時限

担当者 : 大野 洋一(医学教育センター)

内容 :

地域におけるかかりつけ医の役割とその健康増進や疾病予防へのかかわりを概説する。

1. 健康の定義を確認できる

2. 健康を規定する要素を挙げることができる
3. かかりつけ医の役割を説明できる
4. 地域における健康増進と疾病予防の考え方を説明できる
5. かかりつけ医が係る健康増進の例を挙げることができる
6. かかりつけ医がかかわる疾病予防の例を挙げることができる

キーワード：

### 地域 13：地域診断と臨床診断のプロセス

日時：8月18日（月） 3時限

担当者：大野 洋一(医学教育センター)

内容：

疫学や統計の知識を地域医療でどのように役立てるか学びましょう

1. プライマリ・メディシンにおいてよく診る疾患の診断の流れを説明できる。
2. 疾患の頻度と効率的な検査を組み合わせた診断の違いを説明できる。
3. プライマリ・メディシンにおける EBM の 3 要素を説明できる。

キーワード：

プライマリ・メディシン，臨床診断，EBM，検査前確率，検査後確率，陽性尤度比，バイアス，科学的根拠，臨床経験と病態生理学的知見，自己意思決定

参考書：

- ◆ 日常診療に使える臨床統計学 2005 能登洋，羊土社

準備：

キーワードについて「疫学」ユニットや「診療の基本」ユニットで学んだことを復習してくること(15分)

### 地域 14：高齢者・障害者のケア

日時：8月19日（火） 3時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学)

内容：

1. 要介護者の年齢・障害による支援体制の違いについて説明できる。
2. 要介護者の疾病、介護度、家族や家庭、生活環境などの背景に沿ったケアについて説明できる。
3. 要介護者のニーズと社会資源をつなげるための方法について説明できる。
4. 患者中心の多職種連携に必要なケアマネジメントのプロセスについて説明できる。
5. 地域で多様な職種と連携することの意義について説明できる。

キーワード：

介護保険法，障害者総合支援法，介護支援専門員，居宅介護支援，介護認定審査会，かかりつけ医の意見書，社会福祉士，理学療法士，作業療法士，臨床検査技師，保健師，看護師，介護福祉士，ケアマネジメント，ケアプラン

教科書：

- ◆ 地域医療学入門 2019年8月9日発行 診断と治療社 第1章④p26-27 第2章③p45-59

準備：

教科書を予め読んでから講義に参加すること（15分）

### 地域 15：地域医療における緩和医療

日時：8月29日（金） 4時限

担当者：岩瀬 哲(緩和医療科)

**内容：**

地域緩和ケアに係る要素とそのケアの実際を学修する

1. 地域緩和ケア（在宅支援診療所、訪問看護ステーション、介護施設）を概説できる。
2. 在宅/介護施設において頻度の高い身体的症状、精神的症状、社会的症状、実存的症状を列挙することができる。
3. 症状のアセスメントとその対応策を説明できる。
4. 家族のグリーフサポートについて説明できる。

**キーワード：**

地域包括ケアシステム、グリーフケア

**参考書：**

- ◆ 厚生労働省/社会保障審議会「地域包括ケアシステムの更なる進化・推進について」 [https://h-crisis.niph.go.jp/wp-content/uploads/2022/11/20221124110738\\_content\\_12300000\\_001015831.pdf](https://h-crisis.niph.go.jp/wp-content/uploads/2022/11/20221124110738_content_12300000_001015831.pdf)

**準備：**

キーワードについて Web 等を用いて調べてくる。(15分)

**地域 16：職場と地域のメンタルヘルス**

日時：9月4日（木） 1時限

担当者：吉益 晴夫(総セ 神経精神科)

**内容：**

1. 国内の自殺件数の推移について説明できる。
2. 精神疾患の社会的コストを、直接費用と間接費用に分けて説明できる。
3. 職場のメンタルヘルスと関連する法律を列挙できる。
4. メンタルヘルスに関連する産業医の職務を説明できる。
5. 労働安全衛生法に基づくストレスチェックについて説明できる。
6. 職場のメンタルヘルスにおける一次予防、二次予防、三次予防を説明できる。

**キーワード：**

社会的コスト、ラインケア、セルフケア、ストレスチェック、一次予防、二次予防、三次予防

**準備：**

「精神」ユニットで学習した内容を講義資料等を参考に確認してから参加する。(15分)

**地域 17：地域における健康行動科学**

日時：9月26日（金） 1時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学)

**内容：**

地域社会において健康づくりを行う上で必要な行動科学的な知識、実践方法の概要について説明できるようになることを目指している。

1. 地域における医師の活動と医師の責務について説明できる。
2. 健康教育、保健指導における行動科学的な考え方について説明できる。
3. 行動変容のプロセス、ステージについて説明できる。
4. 我が国の健康づくり対策の概要について説明できる。

**キーワード：**

**ユニット：**

行動変容、ヘルスプロモーション、プレシードプロシードモデル、病者役割、自己効力感、ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ、主観的健康観、ソーシャルネットワーク、PDCA サイクル、社会的決定要因

★コアカリ：

健康の社会的決定要因、病人役割

教科書：

◆ 地域医療学入門（診断と治療社）p130-140

予習：

キーワードについて調べる（15分）

復習：

シラバスの項目について2～3行でまとめる（20分）

**地域18：地域医療に従事する医師の職場と学校における役割**

日時：9月26日（金） 2時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学)

内容：

地域における保健活動

1. 医師が地域に出向き多職種や住民と連携することの具体例を説明できる。
2. 健康の社会的決定因子について説明できる。
3. 医療とまちづくりについて説明できる。

キーワード：

ユニット：

母子保健、学校保健、精神保健、健康の社会的決定因子、健康日本21

教科書：

◆ 地域医療学入門 2019年 診断と治療社 第2章⑨p113-117 第3章④135-139

予習：

教科書を読んでから参加すること（15分）